

# 親子で防災カレー作り

## 三重・JA伊勢 クイズで対策学ぶ

防災用カレーライスの試食をする参加親子



【三重・伊勢】JA伊勢くらしの活動推進課は17日、同JA伊勢中央支店で、本年度5回目となる「あぐりスクール」を開き、防災をテーマに勉強会や防災食作りを行った。親子で防災について学ぶことで、日頃の対策を見直すきっかけをつくるのが狙い。当日は管内の親子13組33人が参加した。

日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が8月上旬に発生し、気象庁が南海トラフ地震臨時情報を発表したことを受け、社会的に防災意識が高まっている。

当日は、同JAのライフアドバイザー（LA）

が講師となり、南海トラフ地震発生時の同JA管内の被害予想や災害時に気をつけること、今からできる防災対策などをクイズ形式で説明。災害に備えた「JA建物更生共済」の仕組み説明や相談も受け付けた。

児童らは防災食作りに挑戦。耐熱ポリ袋を使ってご飯を炊いたり、材料を煮込んだりして防災用カレーライスを作った。

同課の坂谷智紀課長は「管内は南海トラフ地震発生時に甚大な被害が出ると予測される地域。防災について学ぶことで、日頃の対策について親子で考える機会になってほしい」と話していた。